



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第253号:R1.9.2 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「火渡り修行 祇興院（ぎこういん）」



不動明王が祀られている祇興院は五泉市太田にあります。

（さいとうごまくかしょうざんまい）

8月28日柴燈護摩供火生三昧修行が行われました。

火生三昧とは身から火炎を出し、その火で一切の煩惱を焼き尽くすこと。

煩惱不浄を浄め願望成就をかなえる

修験道の火渡り修行です。

こちらでは40年余続いており

これまでの修行の成果を試す場でもあるそうです。

山伏は檀家さんのお宅からホラ貝を吹き出発。

およそ200M先にある祇興院を目指します。

ホラ貝の音があたりに響き渡るとドキドキしてきました。

既に見学者、参拝者が多く集まっています。

般若心経から始まり、色々な儀式が執り行われる中護摩木に点火されました。

あっという間に燃え上がり火の粉が飛び散ります。

山伏たちの修行には驚きました。

煮立った窯に入ったり（湯加持行：ゆかじぎょう）、

松明を着物の胸元から袖口まで通したり

（松明行：たいまつぎょう）、

火渡りと。見ているこちらが熱いし痛かったです。

終わりには希望の参拝者も火渡りをしました。

全てが終わってホッとした自分。

私も心身ともに浄められ、

明日への活力となりました！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第263号:R.9.10 五泉の良いことつたえ隊 青木です。



「小学生の楽しい牧場見学♪」

新潟大学農学部村松ステーションの牧場に
やって来たのは五泉南小学校の1年生。
赤・白・黄色の帽子で3クラス。
吉田先生に迎えられ、「こんにちはー！」
「もう3回目だよ。牛さんに会うの楽しみ〜」
「え〜ヤギもいるの？」
様々に会話しながら教室へ入って行きました。
実物大の牛のタペストリーを使っての牛のお話。



牛さんはず〜っと食べてます。
牛さんの触り方はね〜、等など。
牛さんの赤ちゃんが産まれる時のビデオを観ま〜す。
「見たい見たい！見たことあるよ〜。」



出産シーンでは、
「ガンバレ！！ キター！ 犬みたい。かわいい！」
子牛が立ち上がるシーンでは、
「ガンバレ！ガンバレ！ あ〜、惜しい！ 歩けるよ！」
そんな小学生を見てほのぼのとしてしまいます。



長靴を履いて、いざ牧場へ！
牛さんに餌をあげて、
ヤギさんは伸び上がって待っています。
生まれたばかりの子牛さんには大きな哺乳瓶で
ミルクをあげて。子牛さんの吸う力強かったね。
本物ではないけれど乳搾り体験も。
充実の半日間でした。
きっと牛さんもヤギさんも楽しかったよ〜。



新潟大学農学部では五泉市との連携・協力の協定により
地域と様々な交流活動を行なっています。



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

第264号:R.9.10 五泉の良いことつたえ隊 青木です。



「トルコ留学生 in Gosen City」

新潟大学農学部はH28年9月16日、
五泉市と連携・協力する協定を締結し、
産業振興やまちづくり、
人材育成など様々な分野で交流をしています。
先日、18名のトルコ留学生が五泉市の村松公園近くにある
新潟大学農学部の村松ステーションへやって来ました！
まずは吉田先生による座学。五泉市の地理、気候の説明、
年間カレンダーから作物植え付けの時期、
ステーションの五泉市での役割など興味深く聞いていました。
向かいにある「ごせん桜アロマ工房」の説明では
アイスクリームを食べたいというリクエストがありましたが
時間の都合により断念。残念そうでした。
次は移動をして、レンコン農家さんの見学に。
レンコン掘りを見て、お待ちかねの試食タイム！
農家さんのお茶の間へレッツゴー！
レンコンのソテーと、トルコ風アレンジ料理。
茹でた茄子とレンコンをヨーグルトであわせてニンニク風味に。
おつまみにもグー！美味しかったです。
旅って、地元の人との交流が醍醐味だったりしますよね。
ほんの1時間くらいで皆さん仲良しに。
名残惜しくてなかなかバスに乗れません。
また五泉市に来てね～。



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

R1.10.10 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「わたしたちの町」調べ学習を見学」



五泉市本町2丁目にある130年の老舗「博金堂」

時計、メガネ、宝石類など取扱っています。

五泉小学校2年生が学習にやって来ました。

お店のご主人関川さんは、どんな質問が

飛び出すのかドキドキです。

小) 時計は何個ありますか？

小) 特殊な機械はありますか？

小) 時計以外に売っているものは？

金のネックレスや、ダイヤに真珠。

高級品を見て眼を輝かせるのは大人と一緒に(笑)

値札を見て1、10、100、千、万と数えて

100万となると、みんな大驚きの歓声！

小) なんで時計屋さんなのに、指輪を売っていますか？

関) いい質問だね！

200年も前には時計も指輪も日本にはなかったんだよ。

売る店もなかった。

外国の製品を売るお店を始めたんだ。

私のお父さんの時代はギターやハーモニカも

売っていたよ。

小) 本町はこれからどうなって欲しいですか？

関) 車でどこでも行けるようになったら

まちの外に大きな店が出来て

こういう店(小売店)が少なくなったね。

できれば、大きな通りがあって街路樹があって

どの店の前にもベンチが置いてあって

また来たくなるような商店街がいいね。

賑やかな町になって欲しい。

と、黒板に貼った写真を説明する関川さん。

小学生のみんなはウンウンと頷きながら聞いていました。

小) お手紙書いていいですか？

関) いいですよ、楽しみに待ってるよ。

まだまだ質問があるようです。

残りはお手紙を送ることになりました。

なかなかいい質問をしてくる小学生のみんな。

とってもいい勉強になりましたね。

小) 時計壊れたら持ってくる！

関) お～持ってこい。



五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

R1.11.25 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「小学生のニット工場訪問」



桜井メリヤス工場さんに村松小学校3年生がやって来ました。

工場の中には色々な機械がたくさん！

しかも動いているから興味津々です。

どこをどう見たらいいのか、**ワクワク**がとまりません。

編みあがっている生地に触れて

小「やわらか〜い」

小「こんな生地になるの？」と、驚いた様子。

小「どうやって編むの？」という**質問が飛び出します**。

桜「機械にデータを入れて編み込みます。」

小「へ〜〜！」

今の子供たちに「データ入力」ということは、
難しいことではないらしい。

桜「パソコンで模様を作って、指示番号で編んでいきます。」

小「スゲ〜！！」パソコンの画面に釘付けです。

プレスの機械では、**立ち上がる蒸気に歓声**が。

桜「これやってみたい？」

小「やりたい、やりたい！」**全員やりたい**と。

順番に並んでプレスの機械を操作する体験ができました。

小「もうできた〜！すご〜い！」という声が聞こえてきます。

ミシンでボタンホールを縫ったり、

ボタン付けをする作業を見て、あまりの**早業に驚いて**いました。

桜「ここで作られたものは倉庫に送られて、そこから

お店や、おうちに直接送られていきます。」

最後に、今年の流行は？

桜「ニットのワンピースとパンツが出てるね。」

私のアイテムには無いことを自覚。

来年のニットフェスで購入できるかな？

3年生のみなさん、**地場産業ニットの製造工程から流通まで、
たくさんのお勉強**ができました。

こんなに素直に驚き、喜んでいる小学生をみると、
当たり前なことがとても新鮮に感じられます。

お父さん、お母さん、家族のみんなに今日の楽しかったこと自慢してね！





五泉市地域おこし協力隊

— 五泉市の良いことつたえ隊 —

R1.12.23 五泉の良いことつたえ隊 青木です。

「大学生ボランティアさんの食育」



五泉市立総合保育園に6名の大学生ボランティアさんがやって来ました。

大「みんなでゲームをやるよ！」

園「ヤッターー！」「イエーイ！」

大学生が言った言葉の文字数で、グループを作ります。

大「こ・し・ひ・か・り」「5文字だから5人だよ。」

先生方も一緒にグループ作りにワイワイ。

そして本題へ。スクリーンに映し出されたのは、

新大農学部村松ステーションにいる牛博士。

博「牛さんと牛乳の勉強をしていきま〜す。」

博「牛乳はどこから出てくるのでしょうか？」

博士が三択を言う前から「おっぱ〜い。」と得意げ。

農場から色々なクイズが出されると

今度は本物の牛博士が保育園に登場しました！

園児達は大喜び！そこへ突然、**ジュースキング**が現れました。

牛乳は美味しくない、飲み物は全部ジュースに変えてやる！

という敵役。**演劇**が始まりました。

迫真の演技で**戦う両者**。だけど牛博士が力尽きそう。

司会の学生さんから牛乳にみんなのパワーを入れて

牛博士を元気にしよう！という提案。

「がんばれー！」と連呼する園児達。

パワー満タンの牛乳を飲んだ牛博士が復活。

ジュースキングへ必殺技を繰り広げこれでお終いか、、、

ジ「なぜだ？体が元気になっていく。」

博「牛乳は美味しい。強くなれるし体にいいんだよ。君にも知って欲しかった。」

牛乳を飲んだジュースキングは「**こんなに美味しかったのか！**」めでたしめでたし。

保育園を去る牛博士に園児達は「ありがとー！」を体いっばいに伝えていました。

本気でクイズを楽しみ、演劇にのめり込んだ園児達。

牛乳を飲むと強くなって、優しくなれる。そんな風に伝わったのかな〜。

